



## 桶ヶ谷沼とトンボの観察会

平成28年5月21日(土)

10:00~12:00

今年は11種のトンボ確認!!

ユネスコ科学教室「桶ヶ谷沼とトンボの観察会」は、五月二十一日(土)の午前、晴天に恵まれた気持ちの良い新緑の中、昨年に引き続き、磐田市桶ヶ谷沼ビジターセンターに、30名(園児4名・小学生6名・大人7名・会員13名)の参加者が集まりました。

桶ヶ谷沼は磐田市の東部、磐田原台地の東縁にある周囲1.7km、広さ約7.4haの沼です。多くの動植物が確認されており、中でもトンボの種類の多いことで全国的に知られています。沼とその周辺は、静岡県自然環境保全地域に指定されています。

日本には約200種のトンボが生息していますが、桶ヶ谷沼からは70種、野鳥164種、植物650種が確認されています。

観察会では講師を磐田市桶ヶ谷ビジターセンターの細田昭博所長にお願いして、最初に視聴覚室で桶ヶ沼のトンボ、歴史、概況等の説明を受けた。そして、散策路から観察小屋、途中ではカネコトタテグモが住む観音開きのドアのある横穴を観察し、さらに人工池でトンボを観察しながら、最後に視聴覚室に戻って、今日見ることできた11種類(コ

フキトンボ、ベッコウトンボ、シオカラトンボ、シヨウジヨウトンボ、ハラビロトンボ、キイトトンボ、アジアイトトンボ、ギンヤマ、モノサシトンボ、ホソミイトトンボ、クロイトトンボ)のトンボについて細田所長より説明がされた。説明終了後、参加した児童に感想文を書いてもらい、ベッコウトンボの缶バッジを参加記念にプレゼントしました。

### ◎参加者の感想

ベッコウトンボがみれてうれしかった。また、たくさんのお虫やよくぶつにあえたのでたのしかったです。(鈴木遥太)

トンボにも色々種類があって、勉強になりました。また、子供達と来て観察しに来たいです。(竹内照美、竹内ゆうすけ)

きれいな花がしよく虫しよくぶつだっということがはじめてしりました。(のりひさこはく)

シオカラトンボのせなかにかみさまみたいな人の形があることをしってびっくりしました。(名倉大馳)